



でたん
2023.02.25

実演140回目

1999 雲の上

2003 ハズレ

2008 9 (nine)

2015 手のなる方へ2.0

1999 この冬

雲の上

突然君は いなくなつて
雲の上で 暮らすという
もう何も 覚えてなくて
毎日は毎日ではない

昨日の事も 今日の事も
明日の事も 定かではない

突然君は 子供になって
雲の上で 遊ぶという
もう何も 判らなくて
僕達を思い出しそつにない

昨日の事も 今日の事も
明日の事も 意味は持たない

もう何も 覚えてなくて
毎日は毎日ではない

昨日の事も 今日の事も
明日の事も 定かではない

やっと帰ってきたら
雲の上で暮らそう
やっと帰ってきたら
雲の上で飛ばそう

9(nine)

たまに僕が思い出すのは 山と海と煙突
ここに君がいないことが嘘みたい

たまにここで探してみる 山や海や煙突
ここで君を見つけないこともないみたい

曇った空と湿気った風と煙の臭い
赤い空と黒い山と油の臭い

たまに僕が嫌になるのは 山と海と煙突
ここで君を探すことが馬鹿みたい

曇った空と湿気った風と煙の臭い
赤い空と黒い山と油の臭い

たまに僕が思い出すのは 山と海と煙突
ここに君がいないことが嘘みたい

ハズレ

月の灯りも届かない 海の中で漂いながら
夢を見ていよう どうしよともない夢を

いつか巡り来る食物連鎖 昼か夜かも分からなくなった

先っぽの痛みはいずれ奥に沈んでく

十字の傷の刻まれた 重い棒を振り回して
夢をもつ壊そう どうしよともない夢を

空に今年もまたオリオン座 思つことなど何も無くなった
思つてもどうせハズレ 既に過ぎて行く

手のなる方へ2.0

寒い春の日 思い出すよ君のこと
変なおじさんを酔いながら眺めたね

全ては上手くいってると言う嘘
大丈夫だあって言い合つて
幸せがってるけど不幸せそう

酌み交わそう今夜はリモートで

語り合おうラインに乗せて
人を思つなら手を洗おう そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

暑い梅雨の日 思い出すよ君のこと
誰も居ない町を 画面越しに眺めたね

全ては嘘ばかりと言う嘘
眉間に皺を寄せあつて
不幸がってて幸せそう

さあ歌おう 肩は組まずに
さあ踊ろう 距離を離して
人を思つなら手を洗おう そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

さあ手を洗おう
さあ手を洗おう
人を思つなら手を洗おう
そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

さあ手を洗おう
さあ手を洗おう
人を思つなら手を洗おう
そつ世界は
手を洗う方へしか行かないよ

この冬

関係ない
よくわかる世界に
君の顔も見える
問題ない
くだらない言葉で
このままでいけばいい

いつかすべての事が
何もなかったと
気付いても
かけてそれが君を
苦しめる事はない

君の見つける
すべての事が
君を包んで
暖めていく

強く深く
続いていく日々
君の顔も見える
全て
眠らせたとしても
このままでいけばいい

いつかすべての事が
何もなかったと
気付いても
かけてそれが君を
責めたてる事はない
君の隣で
眠ることばが
君を包んで
暖めていく